

# へいわだより 2月号

## 2月の聖句

「信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」

コリントの信徒への手紙Ⅰ  
13章 13節



2018年2月1日  
第一平和保育園

寒い寒い冬になりました。子ども達は先日の雪に大はしゃぎで、朝いっぱいだったテラスや園庭の雪はまたたく間になくなってしまいました。それに引き換えスロープは朝になると凍りつき、数日間、登降園の際にご迷惑をかけてしまいました。そしてまた今週の後半では雪のマークが出ているようです。小さいお子さんと一緒の際は、無理をせず、行き帰りは安全に注意していただければと思います。



## 2月の行事予定

1日(木) お弁当の日  
園庭開放  
交流保育

3日(土) わくわくワークランド

\*3・4・5歳シブリンググループの行事です。  
各ご家庭の指定の時間にお越しください。

5日(月) シブリンググループ誕生会  
避難訓練

14日(水) 口座振替日

16日(金) 乳児クラス懇談会 18:00~

23日(金) 幼児クラス懇談会 18:00~

27日(火) 子育て講座

『就学にむけて親子で楽しくワクワクしよう!』

小宮恭子先生

松戸教会 18:00~19:00

\*当日、子育て講座参加のご家庭のお子様は  
18時過ぎても延長料はかかりません。



## ☆ 子どもと向き合う ☆ 「愛着ってなあに？」

保育園に初めてお子さんを登園させた日のことを覚えていますか? 「一日中、泣いていないかしら?」「先生に慣れてくれるかしら?」と、通勤中も落ち着かなかったことと思います。そして、きっと今では、どのご家庭でもその心配はなくなり、安心してお預けくださっているのではないかと思います。

何が変わったのでしょうか…。それは愛着関係です。子ども達は、自分を委ね安心できる大人を求めています。本能的に、そして経験として相手を選んでいきます。毎日、信頼の中で保育者と関係を密にしていくその積み重ねが愛着となり、安心して羽ばたくための基盤となるのです。

この愛着関係を築くには、大人側の忍耐も必要です。家庭でも同じです。子どもの思いを優先して、大人が我慢したり予定を変更して都合をつけていくことも多いでしょう。辛いと思うこともあるでしょうが、そんな日々の中で親が親にさせられていくという面もあります。また、子ども中心の生活を受け入れることで、生活がより楽しくなる場合もあるのです。

「今」は、「今」しかありません。日々が過ぎてから「今」を懐かしく思うことでしょう。その思い出が嬉しく楽しいものとして思い出されるよう、「今」を大切に過ごしていただきたいと思います。

## 2月の絵本

### 「そろそろいとやさいかね」

ひろかわさえこ作 偕成社

台所の片隅で、すっかり古くなってしまった野菜たち。(どこのご家庭でも多少はそんな経験があることと思います。) たくさんの野菜たちは悲しんだり、怒ったり…。そこに唐突に現れるのがみみず和尚さん。和尚さんに諭されつつ、野菜たちは心を新たに、また土に帰っていくというお話です。全ての生き物は土に帰るのですが、収穫された野菜たちが通るべき正しい道についても、子ども達と一緒に考えていきたいものですね。ひろかわさんは他にも野菜を題材に本を書かれていますので、本屋さんで探してみるのも楽しいかもしれません。